

学校だより

ヒューストン日本語補習校
 Japanese Educational Institute of Houston
 12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077
 Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)
 Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)
 E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

夢と希望を育み、
 培う教育の実現のために

1月30日(土)、第5時間目、小学部1年B組で研究授業が開催されました。

授業者は担任のリッテンマイヤー先生で、国語の授業でした。この研究授業には、小学部低学年部所属(1年~3年生)の先生方と校長が参加しました。

単元名は「にている かん字」で、本時の目当は、「なかまのかん字をあつめてかいてみよう」と言うものでした。似ている漢字として、「貝と見」「学と字」「人と入」「右と石」などを扱い、筆順も考慮させ、似ているところと違っているところを考えさせながら、授業が進展していきました。

子ども達はとても真剣に学習に取り組んでいました。度々、私が教室を訪れてみる様子とは違って、ある種の緊張感もありました。

ところで、1年生で習得する漢字の数は80字あります。これら80字の漢字の読みと書きが出来、意味が分かり、文に表す事が出来るよう、つまり、思ったことや分かったこと、感じたことなどを表現できるようにしたいものです。学年が進行する度に漢字の数が増加しますが、确实、着実に習得することによって、思考の深まりや物事への興味関心の拡大がなされる事になります。

さて、研究授業の趣旨ですが、第一義的には、先生方の指導力の向上を期することによって、子ども達により良い授業の提供を行おうとするものです。今回の場合、リッテンマイヤー先生の授業展開をもとにして、研究協議が放課後開催され、活発な話し合いがなされました。また、常日頃、他の先生の授業を見学することのない先生方にとっては、とても参考になる良い機会でした。必ず今後の授業展開の工夫に生かされ、子どもたちの夢と希望の実現に寄与するものであると確信しています。

末文になりましたが、研究授業に出席した先生方のクラスには、保護者ボランティアによる授業監督をお願いしました。ご多忙の中、ご協力いただき深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



河合塾進学講演会・相談会報告(2)

(5) 帰国生高校編入の現状と対策

現状

- ① 帰国生受け入れ校でも必ず編入が行われるとは限らない。
- ② 編入後の授業についていけるかどうか判定される。

対策

- ① 編入時の学年相当の実力を身につける。→数学、国語(古文・漢文を含む)、英語
- ② 面接、小論文(作文)の練習を積む。
- ③ 志望校とのコミュニケーションを図る。→入試に関する情報提供や特別配慮が期待できる。

(6) 高校入学・編入後に注意すべきこと

- ① 高校では、帰国生の特別待遇はない。
- ② 大学入試では、一般入試を受験する心構えを持つ。→高2の一学期以前に入学すると、帰国生大学入試の受験資格がないこともある。
- ③ 米国で培った英語力を維持する努力をする。→帰国生大学入試での合格には、高度な英語力が必要。英語力が高いことは、一般入試での大学合格の可能性が高まる。

【帰国生大学入試】 キーワードは「多様化」

出願資格・条件

外国学校での継続在籍期間は2年以上が多い。

東大・東北大・東工大などは3年

- ② 外国の高校卒業→国公立大は殆ど要求
- ③ 高校卒業後の年数→4/1日現在で卒業後2年未満
- ④ 繰り上げ卒業、飛び級→容認傾向
- ⑤ 単身残留→父親帰国、母子残留
- ⑥ 単身留学→認める大学の増加
- ⑦ 統一試験の受験の必要性→不要 75%

(2) 選考方法のパターン

- ① 現地統一試験重視型
例、国際基督教大・上智大(国際教養)・慶応大(除: 医・薬学部)
- ② 入試成績重視型
例、早大・青学・立大・一橋・関学(基準あり)・
- ③ 現地・入試折衷型
例、東大・京大・横浜国大・北大(センター試験が必須)

次号に続く

ハイチ地震に思う……生徒の作文から

世界がひとつに

中1 B 三村智加歩 (恩田学級)

1月12日に震度7以上の地震がハイチで発生。何万人もの人々の命を一瞬にして奪った。その中にはお年寄りもいれば、もちろん子供もいた。大人は死というものを理解している。でも、小さい子供は一緒にいた友達が死ねなんてことはもちろん理解していない。特に、昨日まで仲良く遊んでいた友達ともう一生遊べないということは想像もつかないだろう。

あの大きな地震のせいで親を亡くし、施設に預けられる子供がすごく増えた。フランスに引き取ってもらはずだったけれど、数が増えすぎて無理だ。こういうときには世界が一つになり、ハイチを助けるべきではないのか。ハイチは国がまとまっていないため、非常に貧しい。壊れた建物などを元に戻していくには大金が必要だ。そんなお金はハイチにはきつくない。もし、世界の国が少しずつお金をだして助けてあげれば、なんとかなるのではないだろうか。

また、子供たちの将来はどうなるのだろうか。小さい子供が亡くなった友達を今でも名前を呼んで探してくると聞いたとき、思わず涙が出てしまった。私がその小さい子だったらどんな気持ちだろうか。考えるだけで怖い。その子はきっとその友達を探し続けるだろう。そしていつか真実を知ってひどく傷つくだろう。その子の未来は真っ暗だ。そういう子供たちを一人でも減らすように、世界が一つになり助け合うことが、今この問題に最も求められている答えだろう。

ハイチ地震で思うこと

中1 B ヘインズポール聡 (恩田学級)

1月12日、16時53分に、ハイチが大地震で壊滅的被害を受けた。この地震の影響でハイチの国はボロボロに。死者は十一万人をはるかに超え、不安定だったハイチの政府はもっと不安定になった。まだ死者が増え続ける中、今ハイチはどうなっているのだろうか。

ハイチ共和国は南米にあり、ドミニカ共和国の隣にある小さな国である。その小さな国には地震が来たことはない。なのに、なぜこんなに大きい地震が来たのだろうか。それはだれにも分からなかっただろう。

この地震のことで、今世界中が寄付や救護活動をしている。日本からも医師を送ったりして、助けの一部になっている。僕も最近現地校でハイチへの寄付活動をやって三千ドル以上も集めた。こういう援助で、この後ハイチ共和国はどうなっていくのだろうか。再び、あの豊かな国に戻れるのだろうか。そして、人口をどうやって元の数に戻すのだろうか。僕は、ハイチ共和国が早くもとの姿に戻るといいと思う。

お知らせ

「若田光一宇宙飛行士帰還報告会」

2月27日(土) pm2:15-3:15 オードトリウム
宇宙に長期滞在された若田宇宙飛行士さんの報告会を開催します。保護者の皆様も聴講できるので、是非お出でください。

下校時刻は15時30分となります。報告会后、各教室に帰ってからの下校となります。

「古本市」 主催：商工会婦人部委員会

2月市6日(土) 場所 補習校放送室前
古本市での収益金と募金は、全額三水会センター図書館に寄付され、今回は、小学部中学年から高校生向けの書籍を購入されるそうです。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

商工会婦人部委員会の皆様、心から感謝します。ありがとうございます。

◆パトロール当番予定表2月13日◆

～よろしくお願いします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	中3	1	荻島伸顕
		2	古賀謙一郎
		3	武井邦博
		4	古川健吾
		5	森田健人
		6	岩崎匠吾
		7	中山怜香
★PM1リーダー	中3	8	赤松勇紀
		9	岡崎太士朗
		11	村上幸広
		13	太田倫未
		14	寺田優理
		15	鈴木みづほ
		16	三宅恒史
転入	石山飛鳥 (小2A)		転入を歓迎します。明るく楽しく勉学に励んでください。